



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL http://www.showa.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田俊仁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,894	23.7	564	441.9	646	258.2	545	282.3
28年3月期第3四半期	7,997	0.9	104	—	180	—	142	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 989百万円(618.0%) 28年3月期第3四半期 137百万円(△65.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	67.00	—
28年3月期第3四半期	17.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,769	3,823	25.9
28年3月期	14,588	2,875	19.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,823百万円 28年3月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	11.8	330	56.3	320	58.2	240	320.6	29.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	8,970,000株	28年3月期	8,970,000株
29年3月期3Q	824,719株	28年3月期	823,752株
29年3月期3Q	8,145,548株	28年3月期3Q	8,150,378株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や日銀による金融政策等を背景に雇用・所得環境の改善が続き、弱含みながらも緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中国をはじめとする新興国経済の鈍化、英国のEU離脱問題、米国大統領選挙結果による今後の政策内容の行方、為替相場の動向など、世界経済は不確実性が高まり、先行き不透明な状況が続いています。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」の2年目の年として、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重要課題である「事業の選択と集中」「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、98億9千4百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益5億6千4百万円（前年同期比441.9%増）、経常利益6億4千6百万円（前年同期比258.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億4千5百万円（前年同期比282.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器はボイラー、ヒーター及び業務用エコキュートが順調に推移しました。また、環境機器は特に電気ヒーターの売上が堅調で、サーモデバイス機器は熱処理炉の売上が大きく伸びたことにより好調に推移しました。一方で、空調機器は横ばいに推移しました。

この結果、当事業の売上高は68億1千万円（前年同期比32.5%増）となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は橋梁用防護柵が好調に推移しましたが、精密鋳造品が低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は11億7千8百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービス、リニューアル工事及び設備工事が順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は19億5百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千1百万円増加し、147億6千9百万円となりました。主な要因は、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）が4億1千1百万円、投資有価証券が3億9千3百万円増加した一方、有価証券が4億円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料）が1億5千3百万円、現金及び預金が8千万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ7億6千6百万円減少し、109億4千6百万円となりました。主な要因は、短期借入金6億5千万円、長期借入金2億8千2百万円が減少した一方、繰延税金負債が1億6千3百万円増加したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ9億4千8百万円増加し、38億2千3百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が5億5百万円、その他有価証券評価差額金が4億2千9百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,545	3,464
受取手形及び売掛金	3,080	3,463
電子記録債権	278	306
有価証券	400	-
商品及び製品	242	342
仕掛品	1,129	854
原材料	331	352
その他	64	35
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	9,069	8,816
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,581	1,611
その他(純額)	949	1,041
有形固定資産合計	2,531	2,653
無形固定資産		
	43	51
投資その他の資産		
投資有価証券	2,415	2,808
その他	555	466
貸倒引当金	△26	△27
投資その他の資産合計	2,943	3,248
固定資産合計	5,518	5,953
資産合計	14,588	14,769
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,875	2,825
短期借入金	4,420	3,770
未払法人税等	67	78
その他	935	1,004
流動負債合計	8,299	7,679
固定負債		
長期借入金	850	567
退職給付に係る負債	2,175	2,121
繰延税金負債	41	205
その他	347	373
固定負債合計	3,413	3,266
負債合計	11,713	10,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	556	1,061
自己株式	△147	△147
株主資本合計	3,276	3,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	565
為替換算調整勘定	109	38
退職給付に係る調整累計額	△646	△561
その他の包括利益累計額合計	△400	42
純資産合計	2,875	3,823
負債純資産合計	14,588	14,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,997	9,894
売上原価	6,217	7,495
売上総利益	1,779	2,398
販売費及び一般管理費	1,674	1,834
営業利益	104	564
営業外収益		
受取利息	17	11
受取配当金	62	67
為替差益	-	45
持分法による投資利益	28	-
その他	32	19
営業外収益合計	142	144
営業外費用		
支払利息	55	47
持分法による投資損失	-	6
その他	10	8
営業外費用合計	65	62
経常利益	180	646
税金等調整前四半期純利益	180	646
法人税、住民税及び事業税	37	100
法人税等合計	37	100
四半期純利益	142	545
親会社株主に帰属する四半期純利益	142	545

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	142	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	429
退職給付に係る調整額	40	85
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	△71
その他の包括利益合計	△4	443
四半期包括利益	137	989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137	989
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,141	1,227	1,628	7,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	15	64	92
計	5,153	1,243	1,692	8,089
セグメント利益又は損失 (△)	122	△59	41	104

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	104
四半期連結損益計算書の営業利益	104

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,810	1,178	1,905	9,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	18	71	95
計	6,816	1,197	1,977	9,990
セグメント利益又は損失 (△)	583	△107	88	564

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	564
四半期連結損益計算書の営業利益	564

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。